

特別管理産業廃棄物処理計画書

2023年6月20日

徳島県知事 殿

提出者

住所 徳島県徳島市勝占町惣田9

氏名 医療法人 平成博愛会

理事長 武久 洋三

(法人にあつては、名称及び代表者の氏名)

電話番号 088-669-2166

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条の2第10項の規定に基づき、特別管理産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	博愛記念病院
事業場の所在地	徳島県徳島市勝占町惣田9
計画期間	2023年4月1日～2024年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	83:医療業
② 事業の規模	許可病床数:210床
③ 従業員数	464人
④ 特別管理産業廃棄物の一連の処理の工程	発生⇒分別⇒梱包⇒保管⇒排出⇒収集運搬 ※収集運搬以降は業者委託 収集運搬業者⇒中間処分業者(焼却)⇒最終処分業者(埋立)

特別管理産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)

病院長（特別管理産業廃棄物管理者）

医局・看護部・薬剤部・検査部・放射線部・リハビリテーション部・栄養部（各部門分別責任者）
--

事務部・営繕課（処理委託業者管理担当者）

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】		
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物	
	排 出 量	112.536 t	t
	（これまでに実施した取組） 一般廃棄物、感染性廃棄物、非感染性廃棄物の分別方法について、医療現場に勤務する職員に周知・徹底した。 新型コロナウイルス感染症の影響で、院内でのPCR検査数等も多く、感染対策によるPPEなどの消費量が増えたため、前年度より排出量が増えている。		
②計画	【目標】		
	特別管理産業廃棄物の種類		
	排 出 量	110 t	t
	（今後実施する予定の取組） 新型コロナウイルス感染症が5類へ移行になったことに伴い、検査数としては減少してきているが、新型コロナウイルス感染症の影響はまだ続いており、院内感染防止対策の継続をしていく必要がある。感染性廃棄物マニュアルの見直しや、定期的に職員研修を実施し、適切に分別・梱包することにより、排出量の抑制に努める。		

特別管理産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	（分別している特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 感染性廃棄物のみ取り扱い。 適正な分別方法について、職員教育を実施する。
②計画	（今後分別する予定の特別管理産業廃棄物の種類及び分別に関する取組） 感染性廃棄物のみ取り扱い。 適正な分別方法について、職員教育を実施する。

別紙(第2面関係)

特別管理産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状

特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物			
排出量	112.536 t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の種類				
排出量	t	t	t	t

②計画

特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物			
排出量	110 t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の種類				
排出量	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t
(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t
(今後実施する予定の取組)		

別紙(第3面関係)

自ら行う特別管理特別管理産業廃棄物の再生利用に関する事項

①現状

特別管理産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t

②計画

特別管理産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の種類				
自ら再生利用を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t

自ら行う特別管理産業廃棄物の中間処理に関する事項

①現状

特別管理産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減量した特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t

②計画

特別管理産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の種類				
自ら熱回収を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t
自ら中間処理により減量する特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t

(第4面)

自ら行う特別管理産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t
	(これまでに実施した取組)	
②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t
	(今後実施する予定の取組)	

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状	【前年度（ 2022 年度）実績】	
	特別管理産業廃棄物の種類	
	全処理委託量	112.536 t
	優良認定処理業者への処理委託量	112.536 t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
	(これまでに実施した取組)	

別紙(第4面関係)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分に関する事項

①現状

特別管理産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分を行った特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t

②計画

特別管理産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の種類				
自ら埋立処分を行う特別管理産業廃棄物の量	t	t	t	t

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

①現状

特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物			
全処理委託量	112.536 t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の種類				
全処理委託量	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t

②計画	【目標】	
	特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物
	全処理委託量	110 t
	優良認定処理業者への処理委託量	110 t
	再生利用業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t
(今後実施する予定の取組)		
電子情報処理組織の使用に関する事項	【前年度 (2022 年度) 実績】	
	特別管理産業廃棄物排出量 (ポリ塩化ビフェニル廃棄物を除く。)	112.536 t
	(今後実施する予定の取組等) 電子マニフェスト加入済	
※事務処理欄		

別紙(第5面関係)

特別管理産業廃棄物の処理の委託に関する事項

②計画

特別管理産業廃棄物の種類	感染性廃棄物			
全 処 理 委 託 量	112.536 t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t

特別管理産業廃棄物の種類				
全 処 理 委 託 量	t	t	t	t
優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t	t
再生利用業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t	t
認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t	t